とうきょうすくわくプログラム

テーマ：お店

品川区立台場保育園

ハンバーガー屋さんが
開店です！！

ごっこ遊びが大好きな３歳児。料理をしたりジュースを作ったりして遊んでいたら、製作遊びで作った丸い画用紙を見て「お金みたい」とつぶやきました。保育者の提案でお財布やお札を作ってお店屋さんごっこに発展。近所に旧東海道の商店街があり、様々なお店を知ることや、買い物の経験を通し社会への関心が深められると考えました。

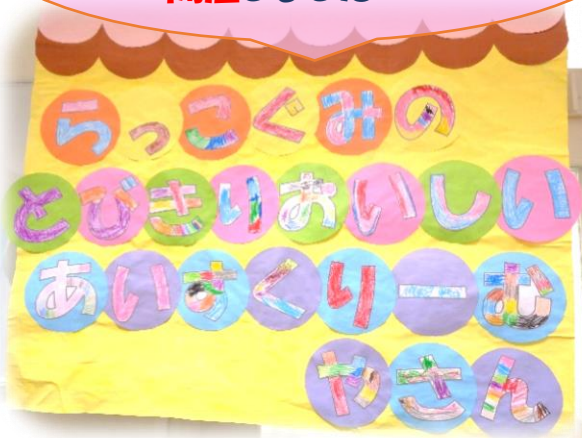
子どもたちは日々の体験からお店屋さんが「いらっしゃいませ。」と言いながら接客することや、お金をやり取りすることを覚え、その印象が強いようでした。また、お店屋さんごっこでは、他児と役割の分担をしながら関わって遊ぶより、自分のイメージの中で楽しむ姿が多く見られました。そこで友達との関わりが広がるように、皆がイメージしやすいハンバーガーショップを保育者が開き、子どもたちが買い物を楽しめるようにしました。

注文の仕方に慣れていて、嗜好に合わせて注文をする様子が見られました。嬉々とした表情で、友達と食べる場を選んだり、食器の片付け場所が分からない友達を手伝ってあげたりする関わりも見られました。用意していなかったケチャップを要求されて、大慌てで準備する大人の姿を見て、自発的にポテトを作って手伝ってくれる気遣いも見せてくれました。この活動は、子どもたちが皆お客さん役だったことで、店員とお客という役割分担が生じず活動のイメージがしやすかったため、遊びながら周囲の様子にも目が向き、自分の行動も捉えやすかったようです。共通のイメージをもって遊ぶ中で、いろいろな場面での友達との関わりを、考えながら展開して楽しんでい

近隣の商店街を探索し、新しくできたジェラート屋さんを発見した子どもたち。「アイスクリーム屋さんになりたい！」と、わくわくしながら準備開始です。

らっこ組の　とびきりおいしい アイスクリーム屋さんが 開店しました！！

ラムネ味のアイスにするの



いろいろな味があるね。
冷たくって、おいしいい！

オレンジとチョコミント
なんだぁ～

おいしいよ！
先生も
食べていいヨ！！

紙粘土、絵の具、ビーズ、モールなどの素材を使い、自分だけのアイスクリームが完成です。自分のアイデアを出せたこと、友達とイメージを共有できたこと、そしてそのアイデアやイメージを実現できたことが、達成感や満足感となりました。創造する喜びを味わった活動になりました。

買い物に行ってみよう！

３歳児の様子を見た４歳児も、お店屋さんを始めました。役割分担をしながらお店屋さんごっこを企画し、何が必要か考え、お金やお財布を作ってやり取りする姿も見られました。
「みんなで、お店に行きたい。」というつぶやきから、北品川本通り商店会のお花屋さんの協力のもと、自分たちで作ったお金を持って買い物をしました。この経験を通し、身近な町を知ったり、日常生活を振り返ったりするきっかけが生まれました。

私は、このお花をください。

丸いお金を作りたい。紙のお金もあるんだよ。

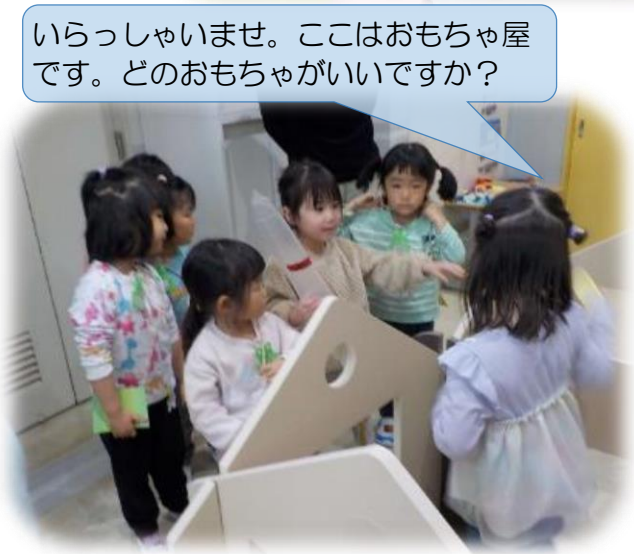
お金を払うのって、ドキドキする…

ありがとうございました。

買い物体験を通して『欲しいものを伝える』『お礼を言う』『お金を払って商品を購入する』という、社会経験をしました。どんなお店で何を買うのか日々の生活との関連にも目を向け、身近な社会と暮らしの探究をしました。購入した花を活けて飾ったり、土に植え替えて世話をしたりする楽しさも感じています。

誕生！！台場商店街

実際に商店街で買い物をした４歳児は、保育園にも商店街を作ろうと思い立ち、園舎に台場商店街が完成です！！
３・４歳児が一緒に活動しました。



何のお店を開くか、どんな品物を用意しようか、どこに置こうかと想像力を働かせながら準備しました。店員役の子はその役割を理解し、真剣な表情で商品の説明やメニューの案内などを行い、お金だけでなくバーコード決済も手際よくこなしていました。生活を再現しながら、コミュニケーションだけでなく、簡単な数量や金銭感覚も育む活動となりました。